

2021年度 東京慈恵会医科大学医学部看護学科入学試験の一部変更について

本学医学部看護学科では、文部科学省の「高大接続改革」に伴う大学入学者選抜実施要項の見直しに対応して、2021年2月に実施する入学試験から、入学試験要項の一部を下記のとおり変更します。これは、看護学を学ぶ高い意欲と看護学科のアドミッション・ポリシーに対応する豊かな資質を有する人を求めるために実施するものです。

1. 指定校推薦入学試験の実施

現行の一般選抜に加え、指定校推薦入学試験を実施します。看護学科定員60名枠は変更せず、指定校推薦入学試験枠を若干名とします。

2. 英語資格・検定試験の利用

一般選抜において、英語科目は現行通り実施しますが、英語資格・検定試験の結果所持者はその結果を提出すれば、本学科が定める基準により英語科目の得点にできます。ただし、英語資格・検定試験結果を提出した者でも、希望すれば当学科の英語試験を受け、点数の高いほうを利用できるものとします。

採用する英語資格・検定試験は、ケンブリッジ英語検定、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&R/ TOEIC S&Wを予定しています。英語資格・検定結果の有効期間は、出願締め切り日までの約2年間(2019年1月以降)とします。

なお、採用する英語資格・検定試験の予定は今後変更することもあります。その他の詳細と併せ、最新の情報は、大学ホームページ、募集要項で随時公表致します。

3. その他

大学入学共通テスト(現行の大学入試センター試験に代わるテスト)の利用は、ありません。